



復刊第139号  
題字 吉岡 弥生

### 会長に就任して



会長 佐藤 千代子

一年は三百六十五日、人生八十年として二九、二〇日+α(閏年)最近あまりの歳月の過ぎゆく速さ、ふと計算してみましたらこんな数字が来ました。今後十年健康で仕事が出来ると仮定いたしましたら三、六五〇日です。結構短いな!と単純な数字からの驚きでした。

山崎前会長は、九年間即ち三、二八五日にわたって会の運営にあたり、その広い視野、国際性、高い識見をもって理事会を厳しく指導していただきました。高齢社会、変革する社会環境に対応した女医の活動を強く推進されました。会長自身、中途で健康を損なわれました。一時期もありましたが病に屈することなく、女医会の発展のために各支部の会にも積極的に出席されました。理事会の自由な雰囲気の中に、時には会長の頑固とさえ受取られる姿もありました

が、私はその姿に信念を貫くことの大切さを教えられ感謝しています。今回の総会において私は会長に選出されまして、いささかの戸惑いと不安を持ってこの重責を引き受けさせていただきました。三神先生、山崎先生お二方ともあまりにも名会長でいらっしやいましたので、風格、技量、能力ともに比較もできない非力であることを自覚しているからでございます。しかし、良くも悪くも順応性に富んでいる私は、引き受けさせていただいた以上微力でも今後三年間全力を尽くして行こう!と決意いたしました。しかし、それには理事会、全会員の皆さまのご協力を賜わらなければ会の運営は不可能でございます。そのために、一人一人がお持ちになっというらっしやいます女医会に対する批判、ご希望、ご提言を、いろいろな方法で、折々の機

会に承らせていただき、検討を重ねて運営に十分反映させていただきたいと存じております。

残念ながら現在会員数は減少傾向にあります。その原因につきましては、理事会でもいろいろ分析し検討していますが、今の時代に即応して女医会を今一度、客観的に見直していただきたいと切実に考えます。平等の権利、義務を持つ医師の職務の上に女医の特性をプラスしたら、その価値は増嵩するにちがひありません。その認識で連帯することの重要性、行動実現をご一緒に考えて参りたいと思っております。

会員増強を第一の目標といたしたいことは申すまでもありません。なお私が地方会員として初めて会長に就任いたしましたことを大切に考え、これも運営の目標といたしたいと存じます。環境問題、健康問題ともに地球規模で考えなくてはなりません。そのためには中央集権的な運営でなく、地方地方の活動に主体性において活力を高めていただき、終局的に全体のレベルを上げる力となることを願います。その具体的な方策は、各支部にアンケートを依頼したり、また各支部の代表による座談会を開くなどが実現できれば、女医会の活動に対する可能性への選択が広がるのではないかと考えます。

ともあれ、会長にとりまして嬉しいことは、天助と申しましようか、今期の理事会はベテランの理事さん方と教授、或は地域医療における代

### もくじ

会長に就任して.....	佐藤千代子 (1)
副会長に就任して.....	白浜 光子 (2)
副会長に就任して.....	野澤 良美 (3)
監事に就任して.....	南雲 君代 (3)
監事に就任して.....	野呂 幸代 (3)
各部の抱負.....	
庶務部/石原 幸子 (4)	会計部/青井 禮子 (4)
学術部/平敷 淳子 (4)	渉外部/野本 照子 (4)
事業部/田中 蘭子 (5)	広報部/稲生 襄 (5)
国際連絡書記に就任して.....	平敷 淳子 (5)
新役員のことば.....	
栗原 久子 (6)	佐々木和子 (6)
丸茂 鳥子 (7)	大澤真木子 (7)
加藤 竺子 (8)	佐伯 輝子 (8)
清水 洋子 (9)	西嶋 攝子 (9)
松本 文絵 (10)	宮原 茂子 (11)
山本 續子 (11)	村田 郁 (11)
国際女医会副会長候補に推薦されて.....	橋本 葉子 (11)
第39回日本女医会定時総会.....	
会長あいさつ.....	山崎 倫子 (13)
定時総会議事録.....	
各賞と研究助成.....	
吉岡弥生賞を受賞して.....	加藤 庸子 (14)
吉岡弥生賞を受賞して.....	横山 和子 (14)
荻野吟子賞を受賞して.....	唐澤 寿 (15)
荻野吟子賞を受賞して.....	養老 静江 (15)
学術研究助成を授与されて.....	中村 久美 (16)
学術研究助成を授与されて.....	橋井美奈子 (16)
学術研究助成を授与されて.....	藤巻わかえ (16)
学術研究助成を授与されて.....	岩川真由美 (16)
学術研究助成を授与されて.....	武田 京子 (17)
学術研究助成を授与されて.....	池田 三知代 (17)
定時総会報告記.....	
総会と支部連合会の役割.....	
定時総会参加記.....	齊藤歌子/守屋孝子/中山年子 (18)
定時総会参加記.....	二村美英江 (18)
ティナークルーシングに参加して.....	竹下 寿子 (19)
花魁ショーに参加して.....	尾中 妙子 (20)
常任理事会議事録.....	
理事会議事録.....	
評議員会議事録.....	
会員動静.....	
編集後記.....	

表的な方々を新しく理事に迎え、しかも熱意のある方々ばかりにて非常に充実した運営ができることと幸せに思っています。



副会長 白浜光子

このたび、はからずも副会長の重責を担うことになりました。私のように非才の者が果して任に堪えられるかどうか、我ながらおぼつかない思いがいたしますが、選ばれた上は微力を尽くして会長を補佐し、また会員と執行部のパイプ役として少しでもお役に立ちたいと思っております。

十数年前一度理事会に参加しましたが、以後一会員として総会ごとに地方支部のご盛況を拝見し、六年前再び山崎前会長の率いられる理事会に参画いたしました。前会長は広い国際的視野に立つて清藤厳正をモットーとされながらも、活発な意見の行き交う自由な雰囲気のある理事会を展開され、事務局の陣容を見事に刷新されました。それがそのままこのたびの新任理事会に引継がれて、明朗闊

る活発な意見展開が行われることと思えます。



副会長 中濱昌子

達な佐藤新会長のもと、各界で活躍される錚々たる若手の理事諸氏の入会も迎え、日本女医学会の今後の発展が大いに期待されることと存じます。私の担当は庶務部と事業部で、いずれもベテランの方たちが揃っておられ心強い限りで、皆さまが力を合わせて運営および事業にますます実績を挙げてくださることと確信いたします。前年度からの事業として推進されているエイズ予防の劇画冊子普及事業も、会員の皆さまの力強いご協力をいただき順調に進み、改訂版の増刷にいたっております。

来年は戦後五十年の記念すべき年を迎え、また七年前には日本女医学会発足百年を迎えようとしております。ソフトな中にも思考力抜群で果敢な決断を示される佐藤会長の指揮により、女医として現在の社会に貢献す

副会長に就任して

このたび、図らずも副会長をお引受けすることになりました。その責任の重大さを感じますとともに身の引き締まる思いで一杯です。

顧みますと、昭和二十八年に上野精養軒で催されました萬国女医会会長リード女史の歓迎会に出席させていただきまして、初めて女医会を直に肌で感じる事ができました。その後の記憶しております。その後、同窓の先輩のお勧めで理事に出させていただき、大先輩の先生方よりいろいろな面で学ぶところが大きかったので、当時は子育ての真最中で、次いで東京を離れたのでそれきりになりました。

年月が経ちまして、神奈川県支部長を経て、六年前に再度理事の末席を汚すことになり、会計次いで広報を担当しいろいろと勉強させていただきました。浅学非才の私ですが、幸いに、頭脳明晰な佐藤会長のもと、

国の会員の皆さまひとりひとりのご協力は何よりの力になることですから、会員増加については是非暖かいご支援をお願い申し上げます。

また優秀な役員の方々に囲まれていますので、分からないことは教えていただきながらできることを一生懸命にやってみようと思っております。先人の言葉を借りますと、香水を製造するときに、蘭や薔薇の花など芳

吉岡弥生賞推せんについて

平成六年吉岡弥生賞授賞の適格者を、本会理事または支部長宛にご推せんくださるようお願いいたします。締め切り期日は、本年十二月二十五日までに願います。なお次の書類を添えて、ご推せんをお願いします。

- 一、自筆履歴書
二、業績
イ、医学に貢献した現会員。
ロ、社会に貢献した現会員。
三、推せん理由

合うことは必要だと存じます。また国際女医学会で、外国の女医さんの在り方を観るのもプラスになると存じます。支部会や他の会合でも非会員の方に入会をお勧めしていただきました。



副会長 野澤良美

村山新内閣の誕生、向井千秋さん日本初の女性宇宙飛行士の誕生と世間ではにぎにぎしいニュースがあふれております。わが日本女医学会におきましても佐藤千代子新会長誕生となりました。

先生は愛知県女医学会のホープでありますと同時に全会員の希望の星として人望を一身に集めておられます。そのような新会長の傍で、今日少しくもお役に立たせていただけることになり、心よりしあわせを噛みしめております。何ぶんにも浅学非才ではございますが一生懸命努めさせていただきますものと願っております。

今までの人生の大半は、私にとり常に日本女医学会とともにあったような気がいたします。多くの先輩の先生方、他校ご出身の先生方ともお親しくさせていただき心よりの友人にも恵まれ有意義に過ごさせていただきましましたことは、ただただ感謝の気

副会長に就任して

いと存じます。また会員増強に関して良いお考えがございましたら是非お教えください。よろしくお願ひ申し上げます。

持ていっばいでございます。思い返しますと、一九七六年、東京においての国際女医学会の際の数々の思い出、エピソード、また諸外国での国際会議出席の際のできごとなど緊張の中にも心温まる思い出がございます。

また日本女医学会六十五周年記念式典、記念誌発行につきましても、つい先日のように感じられます。一九七八年、ドイツ、ベルリンでの国際会議の折には、深夜に空腹の



監事 南雲君代

監事に就任して

去る五月二十九日の総会で役員改選が行われ、藤岡先生、野呂先生とともに無投票当選により監事に就任

させていただきました。山崎会長のもとで三期九年間理事を務めてまいりまして、さまざまな面での勉強を

先生方数人と日本料理店へわざわざおにぎり、味噌汁などのために出かけたこともなつかしく、またこの際にはほとんどヨーロッパの大都市をすべて一まわりし、(おのほりさんのように)日本の国の良さ、有難さ、コップ一ぱいの水のおいしさを痛感いたしました。

まだ中国との往来はあまり自由ではなかった一九八一年には日中友好婦人代表団の一人として中国の北京、蘇州、上海とまわり、ちょうど三月八日(三・八婦人デー)の国際会議に出席いたしました。

一九八四年、バンクーバーでの第十九回国際女医学会出席、発表し大学院の学生さんと同道いたしました。昨年の京都においてはワークショップにて報告の機会を与えていただき、大切な思い出として心に深く残すことができました。

一九七一年に吉岡弥生賞を頂戴しまして、この賞に報いるためには、自分の研究を進展させると共に日本女医学会にも何らかの奉仕をしなければならぬと考え、理事会の中に入れていただきました。以来長い年月がたちました。関西医大という井戸の中から出た私は大海にいるように、理事会の皆さまから多くのものを学びました。学術関係の役割が多く、すばらしい女性研究者に接する機会があり、幸せでした。三年前ごろから精神的な疲労を感じ、役員を辞退



監事 野呂幸枝

監事に就任して

する決心をいたしました。しかし多方面からのお薦めを拒むことができず、監事をおひきうけいたしました。

監事とはご隠居さん仕事のような役目ですが、会則によりますと民法五九条に定められた職務を行うとあります。重要な職務であること知り、私に勤まるかどうか案じています。皆さまのご支援を得て、今年三年間努力いたしますので、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

お願い

会員名簿作成のため、住所、電話番号の変更、または改姓等がありましたら、至急、ハガキで事務局までお知らせください。

庶務部

### 各部の抱負

#### 庶務部

石原幸子

庶務部を担当して二期目に入りました。これほど多くの仕事があったり、あるいは夢にも思いませんでした。毎月行われる理事会の資料作りを始めとして、総会の準備、折衝、冠婚葬祭、天変地異にまで心配りし、三年ごとに行われる選挙、名簿作り等等、細かい事務行事が次から次へと山のように押し寄せて参ります。幸い今日発達したファクシミリのお蔭で時間の無駄なく事務所と往き来できることは誠に便利で、有難い限りです。一期目は、数々の失敗をくり返して終りました。ふと見廻しますと私も古参の部に入り、身を引縮めてゆかねばならないと思いました。今回は頑張り屋の橋本常任理事と、フレッシュマンの、久田、村田、鹿田の三理事を加え、心強い出発となりました。庶務部といたしましては、例年のように会員増加を本年の一つの目標といたしましたが、日本女医学会の会員が年々減ってゆくのは何とも淋しい限りです。入会して見たらこんな楽しい会はないということ、いろいろな面でアピールしなければなりません。自分の周囲だけを見て生きてゆくのもよいでしょう。しかし

私たちは紛れもなく、国家の援助を得て医師になった者です。今こうして医師として社会的地位を与えられ、研究し診療出来るのも自分一人の力で出来たことではなかったと思います。すぎ去ったことは忘れがたりますが、精神的に余裕ができたなら、少しでも社会に還元してゆきましようというのも、日本女医学会の一つのポリシーでもあります。一人の力よりも、多くの人の力を合せたならそれは素晴らしいパワーとなることでしょう。先輩の築かれた道をしっかりと守り続けるばかりではなく、もっと広く、たく進めてゆくのが、私たちの理想であり責任であると存じます。全会員の皆さまが、一人ずつ勧誘して下さいますと、会員は簡単に倍増いたします。どうぞよろしくご協力のお願ひ申し上げます。

#### 会計部

青井禮子

今期会計部は前期より引続いて、青井と、ベテランの栗原久子常任理事、事業部より移られた川田喜代子理事(大阪)、新鋭の西嶋攝子理事(兵庫)の四名で担当することとなりました。担当の中濱昌子副会長は長年当会の役員として、会計、広報等を歴任されたベテランで、公正で理論派、正確、迅速の会計のモットーを地でいくような方です。私もその下で働くことをうれしく存じております。

#### 学術部

平敷淳子

橋本葉子常任理事とともに学術部担当の常任理事に再選されました。さて、前回の会誌にご報告申し上げましたとおり、長年同一金額の会費で運営して参りました中で、消費税や、低金利政策、それに引きついで、公共料金、諸物価値上りという厳しい経済環境にも耐えてがんばって参りました。しかし、会の事業も、疾病構造変化、高齢社会、少産少死社会の中で、社会に向けての働きかけとして、健康教育のため、公開講演会を行ったり、エイズに関する青少年向け啓蒙本発刊を行うなど、山崎前会長時代から会員向けの教育研修のみならず、一歩すすめて公共へと事業拡大が行われております。今後は、公益法人として公共への働きかけは社会のニーズに出来る形で行われてゆくことと存じます。財源確保が切実な問題となって参りました。もちろん会員諸先生のご意志に従ってご承認頂いた予算ののちで、公正に会費が使われてゆくよう、会の経済を守ることが会計部の責任と存じ、正確、迅速をモットーに、かつ積極的な会の事業の足を引っばらないようにと思っております。それにつけても、会費のお早目の納入を心よりお願い申し上げます。

とても光栄に存じます。学術部には新たに理事に就任なされた山本絃子、大澤真木子先生のお二人に加わっていただき、従来の伝統を踏襲しつつ、新しいアイデアをどんどん取り入れていきたいと考えております。医学部における女子学生の比率は年々増加しております。既に男性対女性が一対一の医学部もあります。女子学生の比率が30%から40%の医学部が一般的です。その中から実は切実な「差別」の叫びを聞きます。学術部では研究助成をひきつづき行い、女医の多くの先生方の研究に役立てていただきたいと考えています。もちろん吉岡弥生賞候補もほとんどと本部までご紹介下さい。セミナーやワークショップを東京中心ではなく、地方で開催いたす予定です。地方の評議員の先生のご立案で学術部が共催の形をとることも可能で、逆も可能です。よろしくお願ひ申し上げます。最近のワークショップ「飛びたとう世界へ」女医の国際貢献」では国公立共八十校の女子医学生へもお知らせを出しました。北は山形、秋田大から南は鹿児島大から問合せがありました。うれしいことです。情報化時代、まさにPRの時代！本部から外へ目をむけ行動していかないと、会員の増加はありえません。魅力的なセミナー・ワークショップを通し、学生への啓蒙と女医学会の存在を浸透し、かつ、多才な先生方の

#### 渉外部

野本照子

日本女医学会渉外部は婦人問題企画推進有識者会議・国連NGO国内婦人委員会および講演会に参加し、交流をはかってきました。前者の会議では民間団体約二、六〇〇万人が連帯し、男女平等・女性の地位向上を目指して活動しており、一九九五年に国連主催の「第四回世界女性会議」の北京開催に向けて、日本における男女平等施策の実効が目に見えて示すことができるよう、取組むべきであると申し合わされました。テーマは「連帯と行動」とのことです。一方、婦人問題企画委員会では、「女性の社会進出・高齢化と政府の役割」と題してスウェーデン政府自治大臣・インゲル・グウィッドソン女史の講演会が催されました。スウェーデンでは、子供の教育・養育における男女平等が法律上確認されており、完全に実施されていることを知りました。

その主要点は、出産後母親のみでなく、父親も一年間子供の養育休暇を得ることができると、各家庭ごとに父母間で協議し、養育に当る期間を決定し、実施することができるが、父親のこの一年間は、必ず子供

#### 事業部

田中蘭子

日本での男女共同参画型社会は果して実現するのか、スウェーデンに近づくのは容易なことではないとは思いますが、一歩でも前進できるように努力していかなければと思っております。その第一歩は法律上「子供の養育における男女平等」が規定されなければならぬのではないのでしょうか。

東京女子医大地域保健研究会への助成が例年つづいていますが、他大医学部生へも助成したいので公募するつもりです。(3) 狭野吟子賞 各支部よりの候補者推薦を待っています。(4) 支部助成 一名につき二〇〇円支部へ還元。(5) 年金 最近の金利低下は、女医会年金にも反映していますが、他の年金に比べてなお、安全有利である点を強調して加入者の勧誘に努めます。(6) 一般向け健康保険雑誌「いきいき」への原稿掲載 会員の中から執筆者を依頼して毎号掲載します。(7) ペンダントとルーペダント、日本女医史の販売 従来通りです。

#### 広報部

稲生 襄

日本女医会理事を三期つとめ、今回の改選では高齢のため(二十七年間も日本女医会のためご尽力下さり今回おやめになられた山崎会長と同年)立候補は辞退するつもりでしたが、神奈川県からの立候補が会員数に比し少ないとの事応じた。力不足とは思いますが無事にと念じています。三度広報部をお引受けしたがスタ

### 国際連絡書記に就任して



平敷 淳子

長の間NCS(National Corresponding Secretary)の名前で親しまれてきました国際連絡書記の名称が本年四月の国際役員会議NWIA National Coordinator に変わりました。日本女医学会の活動をレポートして年一回、まず地域の vice president であるフイリッソンの Fe Causas Dizon へてご報告する任務にはじまり、国際女医会本部と日本女医会との本意の意匠での連絡役をつとめたいと願っております。

第23回国際女医会会議は来年一九九五年五月七日から十二日までオランダのハーグ市で開催される予定です。多くの国際女医会々員であられる日本女医学会の先生方とともに、国際女医会会議に出席し、活動に寄与したいと考えております。国際女医会会議は、さらに一九九八

年にはケニアのナイロビで開催される予定です。日本女医学会の所属する Western Pacific Region(西太平洋地域)の地域会議は一九九六年ニュージランドのオークランドで開催されます。期日は未定ですが、この会議から三年間、橋本葉子常任理事が vice president とし Dr. Causas Dizon 後をひきつがれます。先生がご活躍なごり易いように書記としてお手伝いいたすつもりであります。世界はきわめて狭くなりました。特に時間的な短縮には目を見はります。FAX, E-mail にはじまり、情報スパーハイウェイの発達は瞬時に意思決定を迫られます。敏捷に事を進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



### 新役員のごよば

#### 新常任理事として



栗原 久子

三年前、加多乃会の推薦を受け、理事のお仲間入りさせて頂いて以来、今日まで一期、会計をつとめてさせて頂きました。最初は実状もよくわからず、とまどうことも多うございましたが、会長を始め先輩の先生方のご指導により、今日では楽しく参加させて頂いております。

それに、理事会の先生方は各分野の実力者でいらつしやいますのに、理事会では皆さま気軽におつき合ひくださり、いつもその含蓄あるお人柄に啓発され、役得に感謝いたしております。

さて、女医会は年ごとに国内国外の役割が増え、事業も徐々に拡大いたしておりますが、とくに昨年の京都における国際女医会西太平洋地域会議では、日本を始め各国の女医の方々の医学的、社会的活動や若い方々の堂々たる研究発表に感動、私にも大きな励みになりました。また、あれだけの国際会議を企画し、大成功させた女医会の組織や、会員の先生方の実力に感激し、こう

した感激の数々に女医会員としての喜びを実感した次第でございます。

#### 新常任理事として



佐々木 和子

理事二期目となりました。一期三年間は、女性の集団に、会の伝統に、そして実務にと、慣れることに終始しましたが、大いに目を開かされたの思い深い三年間でもありました。今回は山崎先生を始め、ベテランの先生方が多数理事職を去られたこともあり、未熟な私までが常任理事という大役をお任せつかりました。今さら躊躇しても始まり、演劇の法論よろしくまずは形から入り、徐々に中身に肉付けを施し、少しでもお役に立つよう心掛けたいと思っております。

具体的抱負としては、未だ申し上げるほどに熟したものを持ち合わせません。ただ、最近会員が漸減の傾

今年度からは山崎会長のご勇退により、新会長佐藤先生を中心に新しい執行体制となり、私も年功により常任というところで会計を継続担当させて頂いたことになりました。パブル崩壊による影響に洩れず、女医会の会計もきびしくなってきたりしますが、微力ながら、女医会の発展のために工夫、努力して参りたいと存じております。なにとぞよろしくご指導、ご鞭撻下さいませよう。お願い申し上げます。

向にあることを懸念しております。単純に、激務の真唯中で、時間的に無理ということでしょうか。ひたすら束縛を嫌う若い方の風潮から、団体への所属を敬遠されるのでしょうか。また少なくとも高校時代あたりまで、男女同権を享受し得た若い女医方には、女医会が（ネーミングも絡んで？）女性差別の消滅を目指して私われている努力を逆撫でするものと映るのでしょうか。いつの時代でも、少数派、特に少数派の同性同業者が集まりを持つことに何の不思議もありません。まして女医は出発時点からして大きな不利につきまわっています。それらの解決にはすぐ結びつきはしないでしょうが、会

#### 新常任理事として



松井 ひろみ

三神先生、山崎先生をはじめ歴代の会長、会員一人一人の努力によって築きあげられてきた歴史と伝統のある日本女医会の常任理事として佐藤新会長の下で働く機会を頂き、身の引き締まる思いでおります。昭和十六年に確立された官導体制による医療の規格化、教育の均一化、東京一極集中などの中央集権構造が効率的な経済発展を保障し、GDP世界第二位、ODA世界第一位、国連の負担率第二位の経済大国にまで日本を成長させてきたのだと思いま

す。しかしまた同時に、そのような経済活動が、年間五万〜六万もの種類の生物をこの地球から絶滅させるほどの環境問題を引き起こしたのも事実です。さらに今日、歴史に学びえない高齢化社会の現出や、女性の進出による社会の変化等、多くの難問が山積しております。いずれの課題も女性が強力に対応すべきものばかりです。もちろん、これまでも、そして現在も心臓外科医から転身し、九年の

に参加して、全国規模、時には地球規模で同性同業者のさまざまな考え、仕事のこなし方等の情報を得たり、自らも情報を提供するのには大切なことです。会には、学者として、臨床家として、お世辞抜きに卓越した先輩、後輩が多数おられ、触発されること大です。逆に反面教師的一面も垣間見られ、これは我が身を正す大事な教材となります。一義的に女医会とは互いに磨き合い、また女性の長所短所を確認し合うことにより自分を手直しできる貴重な場といえませんか？加うるに、学術、事業関係は歴代会長以下役員諸先輩のご努力により、既に充実しております

が、新役員加入により、さらに新鮮味が増すかもしれせん。とにかく、お一人でも多く会にお誘い頂けませんか。きっと、世界も広がり、自分の医師としてのあり方を探る一助となる筈です。今一つ、反省を含め強調したいのは、女医会と同時に一般医師の集いにもできる限り出席すべきということです。究極的には、そこで自然かつ正当に評価されるようになればと思います。新会長佐藤先生の下で、よりすてきな女医会を目指したいと思っております。今期もよろしくご指導くださいませ。

#### 新常任理事として



丸茂 晶子

努力の結果、アジアの女性として初めて宇宙に飛び立った向井千秋さんのように、多くの先輩、後輩の女医たちの勇気や努力や行動が、常に時代や社会の流れを切り開き、問題を解決してきました。今こそ「地球は一つ」という認識をあらたに、新しい価値観をつくり、命との共生の世界を創造するために、会員一人一人の経験と叡知を結集し

て、未来にたくなく役割を少しでも果たしたいと思っております。やがて、女医会の地道な活動が、子供たちに科学する目を、命の尊さを知る心を開かせることになろうと思っております。私自身も、二十年の地方議会の経験を活かし、日本女医会の発展のため、微力を尽くしたいと思っておりますので、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

国際女医会を無我夢中のうちに通りこし、いざとなつたときの諸先生方の力を見事な新米の私はただただ目をみはっていた、そんなことで過ぎた三年でした。

この三年間に最もこれではと思つたことは会員数が漸減し二千七百人台になってしまったことです。特に新卒の人たちの入会がない事は考えさせられることでした。退会する人たちの名前を見るのが一番残念なことです。女医会の必要性を感じない人たちが増えたこともあるかもしれません。またすべての医師たちの間でも見られる自分が無事ならば、ということに重きがおかれ、連帯性とか皆のために何かをする精神が薄れている傾向も原因かと思えます。その他いろいろあるでしょうが。

はりが仕事をするの大変さ、やはり男上位であることを感じなければならぬとき、やはり何とかしなければと思つてしまふ。会員の声なき声をきかねばならぬと思ひます。魅力ある女医会に——そんなことがこの三年間の与えられた命題であろうかと思つております。女医であることなどという狭い視野から物事を考えるのではなく、女だから見えること、女でなければできないこと、そんな立場で物事を考えることも重要かと思つております。時代は刻々と変化しているのです。暗中模索の状態ですが沈滞した状態ではいたくないと思つております。よろしくお願ひ申し上げます。

#### 新理事として



大澤 真木子

大変お暑い毎日が続いておりますが、皆様におかれましてはますますご清栄の事とお喜び申し上げます。今回、はからずも皆様のご信任を賜りまして、日本女医会の理事の一員として加えさせて頂いたこととなりまして。大変光栄に存じております。伝統ある女医会の諸先輩のご活躍振りを拝聴させて頂いたばかりに、私のような浅学、非才な身に大役が勤まりますか否か不安にも存じますが、精一杯努力する所存でございます。よろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

私事を申し上げますと、女子医大を昭和四十七年に卒業後、直ちに日本女医会に入会させて頂いたばかりですが、卒業後の目まぐるしい生活の中で、女医会から送っていただく新聞に目を通させていたたくゆとりもなく、無収入の大学院生にとつては所屬の諸学会から会費の請求書が次次送られてくるのが辛く、やむをえず一時女医会を退会させて頂いたことがありました。十年近く前、ようやく少し気持ちに余裕ができて、また世界に唯一の女子医科大学で後輩の教育に当たる立場としまして、世

界を広げて努力をしなければならぬことに気が付き、女医会に再入会させていただきます。昭和四十年に、東京女子医科大学を卒業し、卒業と同時にこの会のメンバーになり、日本女医会誌を読みながら、先輩たちの活躍を学ばせていただいたいました。私にとり日本女医会が、尊敬する偉大な先輩たちが、女医の道を示し、がんばって活動して下さったとても大きな会です。社会的な活動、特に国際女医会との関連で、国際的な活躍をしている事に魅力を感じていました。先輩たちの活躍はいつもすばらしいと思つていました。また、日本女医会東京都支部連合会にも参加させて頂いたとき、東京都支部の活発な活動を通じて、楽しい交流をさせて頂いておりました。

#### 新理事として



大坪 公子

このたび、伝統ある日本女医会の理事に就任させて頂いたとき、光栄に存じます。昭和四十年に、東京女子医科大学を卒業し、卒業と同時にこの会のメンバーになり、日本女医会誌を読みながら、先輩たちの活躍を学ばせていただいたいました。私にとり日本女医会が、尊敬する偉大な先輩たちが、女医の道を示し、がんばって活動して下さったとても大きな会です。社会的な活動、特に国際女医会との関連で、国際的な活躍をしている事に魅力を感じていました。先輩たちの活躍はいつもすばらしいと思つていました。また、日本女医会東京都支部連合会にも参加させて頂いたとき、東京都支部の活発な活動を通じて、楽しい交流をさせて頂いておりました。

女医は年をとつてもみなすばらしい働きをしており、そのパワーのみごとさにもいつも感激してました。医療における女医の役割には、はかりきれないものがあります。医療の第一線では、女医はやさしく思いやりがあり、病める者への深い理解が基本となつて、よりよい医療を行うことができます。これは一般的に、男性に勝る女性のすぐれた資質と思ひます。会員数が少ないことは、とても残念なことです。この会をもっと活発にするには、若い女医たちが、自分たちの会としてこの会に参加することが必要です。会員数の増加を願つてやみません。私は、医療を通じて社会に奉仕する。という事をモットーに病院の運営をしています。日本女医会の活動

を通じて、世の中のために役立つことができれば幸いです。微力ではありますが

新理事として



「社団法人日本女医学会理事に委嘱」という佐藤会長名の委嘱状をいただき、果して私ごとがその重責を果たすことができるのか、いささか戸惑いと不安を感じております。な

ますが努力していきますので、どうぞよろしくご指導ください。

加藤 竺子

外科教授)にご就任いただきました。この機会に福岡の女医学会を強化すべく、坂本雅子先生(福岡健康づくりセンター専務理事)に事務局をお引き

新理事として



日本女医学会の理事という大役を引き受けすることに、身の引き締まる思いです。

自己紹介からさせていただきます。私は、この十五年ばかり横浜市の実業家福社協会の医師(所長)をしています。

ので、年々女医さんが増加しております。

こうした方々が全部すぐ日本女医学会へ加入というにはまだいろいろの問題もあるようです。できるだけ福岡支部として新、旧、混在の中で、二十一世紀を見据えた、日本の女医

の活動のあり方や社会参画、情報の交流や相互親睦など、職業人としても女性としてもよりよい人生の充実に向けてお互いに刺激し高めあ

佐伯 輝子

からは、横浜市経済局の南部市場内に診療所を開設し、午前中の診療をして、大急ぎで寿町診療所に駆けつけるわけなんです。

自分ですべてを運んで、寿町診療所へ移動するのですが、昼食は車の中、赤信号でお弁当を食べる。十五年間そんな生活をしています。

が、カミソリで股こみをつけて来たり、寿町診療所前の路上で首をしめられたりと、さいわい、いずれも難を逃れましたが、そんな恐ろしいこともありました。

そんなことがあっても割合平気でやってこられたのも、女ながら「度胸」があったのかなとも思います。考えてみると、こんな自分の生き方

には、ある契機があるのです。それは、日本女医学会に入会したことなの

新理事として



医師になって三十六年、目の前にあるなすべきことを精一杯したつもりでいても、ふとこれで良かったのかと考えることがあります。

本年の医師国家試験合格者中、女医が四分の一以上になった事は喜ばしいことです。がしかし、女性はやがて迎える結婚、出産、育児という大役というべきか、苦勞というべき

らしぶりを驚かしたんです。主婦をし、子育てをする。子息を医学部に進学させ、ご主人の世話をしながら開業医を立派にこなしている。女医としての悩み、課題があらうに、そのハードルをどのようにクリアしていくのか知りたいと思ひ、即座に日本女医学会に入会しました。

一九七六年の日本での国際女医学会に参加した時にも、世界の女医が、昼間のGパン姿から、夜のパーティーにドレスアップした姿身ぶりにも、カルチャーショックをうけました。

私にとって日本女医学会は「生き方に指針を与えるさまざまな情報を提供」してくれる場なのです。

鹿田 儀子



かが待っています。医師の資格に男女の差は全く無いとしても、仕事を続ける間に男性とは違った壁にぶつかります。日本女医学会を認めよう

しない女医もおられるのが現実です。しかしこれからは育つ若い女医のために、男性と肩を並べて意欲的に仕事を続けられるよう、先に同じ道を歩いてきた私たちが、少しでも力にな

ることができれば、日本女医学会としての活動が大事な役目を果たしていると考えます。また女医であるが故にできることは、他にも山積しているでしょう。日本の女医が、国内だけでなく国際的にも活躍するために日本女医学会は有意義な仕事をしていると信じています。

新理事として



二十一世紀の幕明けを六年後に控えた今、私たちの周りでは政治、経済、文化、その他さまざまな分野で「地方の時代」が叫ばれております。東北地方には女子医大こそありませんが、数多くの女医たちが今なお存在する差別と悪条件の中で、男性医師に混じって懸命にそれぞれの道を進もうと努力しております。しかし残念なことにはその人々の間に日本女医学会の素晴らしい活躍の実態がほとんど知られておらず、従って女医学会の活動の必要性については若い女医(特に学生時代を共学で過ごしてきた女医)たちに充分な理解を得るにいたっておりません。

にも活躍しているのをあらためて知りました。この中で浅学非才の私がどれだけのことが出来るか不安です。しかし理事として仕事をさせていただく以上、重責を果すべく努力する決意です。

清水 洋子

と結集されて参りました。これは当時の長池博子元会長の魅力あるお人柄と優れた実行力の賜物に違いはありませんが、やはり各分野で活躍している個性ある若い女医たちがこの活動の中で女医学会の存在意義を身をもって確信できたからだと思ひます。

さてわが国では男女機会均等法が定められた現在でも、女医が働く現場ではまだまだ差別に苦しんでいる状況に変わりはなく、特に家庭を持つ女医は義務ばかりが男性並になつて働く環境はほとんど改善されておられません。たとえば子供を保育所に預けることはできても時間外保育の問題は経済的にも負担が大きく家族の協力なしでは解決できません。私は生来体が弱く体力も人並み以下でやっとの思いで子育てと仕事を

続けて来たという情ない医師です。この弱い立場から今考えていることを次に述べてみたいと思ひます。

新理事として

現在のよう、ごく少数の特別傑出した能力を持つ女医だけが、しかも男性の何倍もの努力をして初めて世に認められる仕事が可能になるというだけではなく、すべての女医がそれなりの自分のスタイルで希望通りの仕事ができるのが望ましい。それには医師の世界だけではなく社会全体が変わらなければならぬかも知れません。でもまず同じ立場にあつて同じ悩みを抱える女医たちが、

ながら、一つでも問題解決の糸口を見出すためにまともな行動をする。これは決して無意味ではないと思ひます。この中で私たちは自分の生き方に自信を取戻し、また社会に対しても女医の力をより強くアピールできるからです。

新理事として



日本女医学会へ入会したのは、今から二十年以上も前のことになりました。大学卒業試験の終了直後に、入会案内の用紙が女子学生だけに配布されました。まだ学生でしたが、こんな

荻野吟子賞推せん

平成六年 荻野吟子賞 授賞の適格者を、本会理事または支部長宛にご推せんくださるようお願いいたします。締め切り期日は、本年十二月二十五日、候補者の経歴、業績と推せん理由を記載し、推せん者の氏名、捺印をもちって提出してください。

て活動している女医会もいくつかあると聞いております。私は今回宮城支部の推薦で理事にさせていただきました。今後はこうした「地方」の女医たちの声をできるだけ女医学会に反映させ、日本女医学会に新しい幅の広がりが作られるよう微力ではありますが努力して行きたいと思ひます。皆さまのご指導をお願いいたします。

西嶋 攝子

会があるのか? と何ともいえない感慨を覚えたことを思い出します。試験直後の解放感も手伝って、すぐに入会しました。以後二十年余り、毎年請求があれば会費を収める、と

「会」と名のつく組織は、仕事をすること以上は十や十五は皆さんおありのことと思ひます。その中で大勢のメンバーの方に、常に魅力的である「会」であり続けるには、大変な努力が必要ではないかと思ひて来ました。



新理事として

千葉県支部が成立して、かれこれ四十数年になりますが、まだ千葉支部からは、どなたも中央に出るチャンスに恵まれませんでした。このたびは、はからずも日本女医学会の理事に、就任させていただきました。光栄に存じております。

かえりみまずと、千葉県支部長を二度させていただき、総会にたびたび出席するうちに、学校を越えたたき、楽しいひとときを過ごせました。幸せを感謝しております。

この間、第一回の理事会に出席いたしました。感じましたことは、短時間にはビッシリとつまった議事を手際よく運んでいらつしやるのには、おどろきました。七月になり至誠会千葉支部の会に出席しましたら、意外と日本女医学会の未会員がいることに気が付き、とりあえず七月二十三日のワークショップへの出席を強く誘いかけ、日本女医学会が国際的にもどのように大きな仕事をしているか認識していただき、日本女医学会に一人

伝いさせていただければ、私にとりまして大変光栄なことと存じております。

久田タカ

でも多くの人が入会していただけたら幸せだと思えます。そして現会員

新理事として



昨年、国際女医会・西太平洋地域会議が京都で催され、山崎会長を筆頭に、マッキントッシュのコンピュータまでご出向になり、まことに鮮やかに、そしてエネルギーに運営されているごようすを目近に拝見させていただきました。深く感銘いたしました。何かと未熟な私ですが、あらためて勉強させていただきますと決心した次第です。

近年、各医大の入学生のうち、女子学生が四割前後を占めています。また今春の医師国家試験の合格点は、八十点余りのところ、女子学生の平均点は、十点多い九十点余りだったそうです。

松本文絵

百年におよぶ女医の孤独なたたかいを、看守り指導して参ったのは、まさにもなく「日本女医会」でした。今ようやく、女医の社会貢献や、地域でのリーダーシップが、ソトの人たちから評価される時代になってまいりました。

しかしまだ、すべての面で問題の多い日本医師会に女性の会長の姿はなく、女医部門も存在しない不自然を、若い人たちに託すために、どうサポートすることなのかを、私の宿題にしたいと思っております。よろしくご指導くださいませ。

第15回学術研究助成のご案内

会員の学術研究に対し、助成事業を行っております。希望者がありましたら応募要項にしたがって、事務局あて申請くださるようお願いいたします。

- 一、助成の趣旨
  - 医学分野の発展向上を図り、後進の研究助成を目的とする。
- 二、助成金額
  - 一件 三十五万円(五件)
- 三、申込手続
  - (1) 応募資格
    - 入会継続三年以上経過した日本女医学会会員で個人、またはグループ(ただし、グループ研究においては会員が研究推進の中心的役割をになうものであること)
  - (2) 助成期間
    - 一年を原則とする。同一人が重ねて申請する場合は、三年以上の間隔を置く。
  - (3) 応募方法
    - 本会所定の用紙に、黒インキまたはワープロで記入。一通を提出(用紙は事務局へ請求のこと)
  - (4) 申込期間
    - 平成六年十二月二十五日(必着)
  - (5) 選考および発表方法
    - 選考委員会において選考の上、平成七年三月開催の日本女医学会理事会上において決定し、申請者あて通知する。
  - (6) 助成金の贈呈
    - 平成七年五月開催の日本女医学会総会の席上。
  - (7) 受賞者の本会に対する義務
    - 平成八年三月末日までに研究経過報告(B5原稿用紙三枚)と助成金使途についての簡単な収支報告を提出すること。
  - (8) 送り先
    - 日本女医学会本部 〒150 東京都渋谷区渋谷二一八一七 電話 ○三三四九八〇五七一



新理事として

かえりみまずと、いつの間にか卒後四半世紀、開業して十五年、尊敬する東京女子医大創立者、吉岡弥生先生の建学の精神に則っているだろうかと反省の上立って、一歩でも半歩でも前進すべく桐生市医師会理事に就任。時代の要請にこたえ、さらなる充実発展を期すべく、意を新たに努力している毎日ですが、このようなきに、突然、日本女医会理事丸茂昌子先生より強いご推薦をいただき、深謝しつつも余りの大役ゆえ少し考えさせてくださいとお返事いたしました。

思えば、現在の私の女医としての恵まれた環境は、多くの先輩諸姉の

宮原茂子

心血を注いだ日々のご精進の賜と、深い感銘と新たな感動を覚えます。特に私の郷土群馬県桐生市において、元群馬県女医会会長、現桐生女医会会長であられる岸直枝先生の当地方開業女医第一号としての苦難な道程を来られたことは、先生の著書である「心の絆」に、先生の不転の勇氣とその行動力が示されており、この事実は私にとって、新たな意欲を持って丸茂先生の期待にこたえ、今後女医の飛躍的地位の向上を期するのが使命として、懸命に努力をいたす所存であります。先輩諸先生方のご指導、ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

新理事として



明治三十五年を源流として、悠久の伝統あるわが社団法人日本女医会、ご先賢のご推戴を得て思いもかけない理事の席をいただき、驚きの中に名譽なことと存じています。医道に奉職して以来、さまざまに

村田郁

体験させられた男性優位のこの世界に、限られた人数の女医が結束して、女性ならではの感性と特性を医療の現場に活用する情報交換の場であり、また女性特有の細心な配慮を医療の隅々に反映できるその活動に賛同し



新理事として

このチャンスを与えられて、決してみずから過信することなく、着実に足許を固めて、その任を務めて参りたいと思っております。長い間会長の激務を全うなさいました山崎前会長、バトンタッチを受

山本 續子

け新たに出発なさいます佐藤会長、心より感謝を申し上げます。どうぞご指導とご鞭撻を頂戴いたしたく、よろしくお願い申し上げます。

このたび日本女医学会の理事として学術を担当させていただく事となりました。私立大学医学部の一教室を預かる身でございますので十分に責務を果たすことができるかどうか不安に思いますが、私なりに精一杯努めさせていただきます覚悟であります。約一世紀になろうとする女医会ですが、創立当時からその時々の女医の状況に合った活動がなされてまいりました。しかし、昨今の女医の置かれた状況は根本的な発想の転換をせねばならないほど、大きく変化しており、したがって女医会としての活動の目標も複雑になってきているように思っています。まず私立医学部の新設に伴って著しさを増した女医数の増加は一九九四年の新医学部入学者のうち女性の占める割合が平均34%で、最も多い大学では実に49%と驚くべき状況にあり、もはや女医が特殊な職業であるとは思われません。

次に女性の生き方の多様性とその選択の自由が先人の努力により広く社会に受け入れられ、産み育てる性から社会の半分を荷う性へと変化してまいりました。しかも、進歩であったはずの数々の状況の変化がまた新たな問題を生じて来ております。女医のみでなく社会に進出した女性の抱える問題には当人の身体的ストレスやスパーマン・シンドロームに代表される精神的ストレスをはじめとして、子供や配偶者への急性および慢性的影響があり、心身学的的に注目されています。日本のあるいは地球規模で考えれば、これらの問題を解決して働く女性が優秀な次代を安心して産み育て得る環境を作る必要に迫られており、この点で受け入れ側の総論賛成、各論反対の現実を変革していく努力が望まれます。高齢社会の到来とともに臨床医も看護婦やケースワーカーなどのコメディカルの人々と連携し、病気の



### 国際女医学会副会長候補に推薦されて

橋本葉子

みでなく、治療のためには患者さんの置かれた状況を配慮せねばならぬことがますます増え、女性の経験や感性がさらに必要となつてきております。一方、医学の基礎的研究は昨今の分子生物学的成果に見られる如く、飛躍的な進展を遂げておりますが、医療の領域でもこれらの研究に基づいた着実な進展があり、学ぶことが多くなつております。諸先輩のご指導をいただきながら、真実と現実と即した学術的活動を心がけたいと思つておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

昨年、京都で行われました国際女医学会第5回西太平洋地域会議総会席上で、次期(一九九五年)一九九八年)国際女医学会副会長候補に不肖橋本が推薦されましたので、来年、オランダのハーグで行われます国際

女医学会に副会長立候補届を提出させていただきます。国際女医学会には副会長が地域ごとに選出され、その地域の国際会議の会長を務めることになっております。昨年の西太平洋地域会議は京都で行われ、副会長は

ファイリビンのDr. Dixonでした。次期西太平洋地域会議は一九九六年三月二十日(二十一日)まで、ニュージーランドのオークランドで開催される予定になっております。この時の会長を来年の国際女医学会で選出される西太平洋地域の副会長が務めることになるわけですが、副会長の国籍と国際女医学会主催国が異なるのは誠にやりにくいことではあります。いつからかこのようなことになってしまったのか、近い将来、副会長の在籍する国で、西太平洋地域会議が開催できるようなにして欲しいと考えて

おります。しかし、第6回西太平洋地域会議はニュージーランドで行われることは決定しており、準備も着々と進んでおりますので、私が西太平洋地域の次期副会長に選出された暁には、浅学非才ではございますが、可能な限りの努力で、京都の会議に勝るとも劣らないような立派な国際会議にしたいと考えております。これも皆様のご協力なしにはできません。どうぞよろしくお願いいたします。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

東京女子医科大学 副学長  
第一生理学教室 主任教授

### 第39回日本女医学会定時総会

#### 会長あいさつ

会長 山崎倫子

本日は全国各地から多数の会員をお迎えして第39回定時総会を開くことができましたことは誠に同慶の至りでございます。

昨年は第5回国際女医学会西太平洋地域会議を無事成功裡に終了することができましたことをまず、ご報告申し上げ、会員の皆さまからいただきましたあたたかいご協力に對し厚くお礼を申し上げます。

参加された国際女医学会会長 Dr. Dorothy Ward 西太平洋地域副会長 Dr. Fe-Caulas Dizonをはじめ各国からの参加者の皆さんからも学術、社交面でのプログラムに非常に感銘を受けた、生涯に残る素晴らしい大会を感謝する旨のお礼状がたくさん参りました。国内の参加者の皆さんからも「参加してよかった」「国際会議なるものを垣間見、経験できて

よかった」「外国の女医たちと交流できてとてもよかった」など数々のお便りを頂戴いたしました。

国際会議に引続いて行われた日本女医学会総会につきましては京都支部長松本文絵先生はじめ支部諸先生のご協力に深く感謝申し上げます。

今総会は東京都支部連合会のご協力によって行われております。昨日来たいたことと存じます。さらに総会終了後の懇親会の催し、今朝の朝食会など格別なおもてなしに今野支部長はじめ役員の皆様が心から厚くお礼を申し上げます。

さて、役員選挙でございますが、理事立候補者三十一名、監事立候補者三名でいずれも定款第一四条第一

項第二項にありますがそれぞれ定数を充たしてあり、かつ超過しておりませんので今回は無投票にて全員当選ということになります。従って理事選挙は行われませんことをご承知ください。

この一年をふり返りますと本当に忙しく慌ただしい月日でございます。国際会議の諸決算、会議報告書作成、ご協力団体、個人に対するご挨拶、国際会議前後の事務員の交代、事務所の整理整頓整備、年金事業のコンピュータ化と総点検、昨年ご承認いただきました事業計画の遂行など、加えて今回は定款改正の検討に取り組んで参りました。昨年九月には国際会議完了報告と定款改正案のご検討をいただくために臨時評議員会も招集させていただきました。

まことに遺憾なことではあります。日本女医学会も高齢化を迎えており

このような諸般の事情から定款第一四条の理事の定数を減らすこと等は必然的に迫られております。定款改正案につきましては後程ご審議賜わりたいと存じます。また同じく予算案をご審議いただくことになっておりますが、現在の会費ではとても従来通りの事業を遂行してゆくこ

とが困難な事態となつて参りました。日本女医学会は既に十五周年にわたる増額いただきまして明年度より増額の止むを得ないことをご了承下さい。

さて今年度の事業として、エイズに関する啓蒙活動の一環として、お手許におとどけた「Dr・Iのメッセージ」を発刊いたしました。エイズ感染者の増加は世界中に猛威をふるい、日本でも急増しております。若年層の男女、特にハイリスクグループに読んでほしい正しいエイズの知識をもつてもらうために、私達にはアレギーですが、あえて劇画調にいたしました。先生方にはぜひご関係の学校、婦人団体、PTAなどにもご利用いただきますようお願いいたします。

さて、本年度の吉岡弥生賞は日本医科大学教授の横山和子先生と藤田学園大学脳神経外科講師の加藤庸子先生のお二方に決定いたしました。精しくは表彰の折にご紹介させていただきます。また荻野吟子賞には、お年九十四歳でなお鎌倉市において診療を続けておられる養老静江先生と産業医で産業コンサルタント医第一号となられ「活躍され、定年退職後現在では診療所を開設し診療を続けておられる九十三歳の唐沢寿先生のお二方に決めさせて頂きました。

学術研究助成には十一名の方からご応募いただきましたが慎重審査の結果六名の方に助成金を贈ることに

なりました。どのご研究も大変優秀で、しかも時代の先端をゆくものも多く、若い研究者の将来は誠に頼もしく心強く感じたことでした。

先般、今年の医師国家試験の結果が発表されました。受験者総数九、二五五人でしたが男女別の合格率は男性84・7%女性91・4%で断然女性の合格率の方が高かったということでありました。また全体の24・2%を女性が占め過去最高であったということでもあります。学術面でも臨床においても女医の活躍が大きく期待される心から嬉しく思つたことでした。

名誉会長三神美和先生は卒寿をお迎えになられましたがおおしく、そして現役でいらつしやいますし、橋本葉子常任理事は先般東京女子医科大学副学長に選任されました。来たる国際女医学会総会では西太平洋地域の副会長に承認されることが決まっております。

一九〇二年、明治三十五年前田園子女史他有志によつて設立された日本女医学会は今年で九十四年を迎えます。時代は変わりましたが先輩諸先生が開かれた道をさらに大きく国内的にも国際的にも発展させて行かなければなりません。それには何となくも会員の増強が大切です。これらいろいろな方法を考へて具体化していつてほしいと願っています。西暦二〇〇二年には日本女医学会は一〇〇周年、設立一世紀を迎えます。会員を増やし、女医学会のますますの発展にご協力賜りますようお願い申

### 定時総会議事録

日時 平成6年5月29日(日)  
場所 京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿2-2-1)  
午後1時10分開会  
司会/石原 幸子

出席者 二〇三名  
記名委任数 七四七名  
白紙委任数 四一〇名

以上のとおり日本女医学会定款第27条の定足数に達し、総会が成立する旨の報告あり開会を宣す。

会長挨拶 山崎 倫子  
物故者への黙禱 平成5年度物故会員に黙禱

定款15条の規定により現役員任期満了にともない役員改選のため選挙管理委員選出  
大橋 鎮子、尾中 妙子、岸 よし、甲子 万里子、清水 五百子、館 栄子

理事立候補者名(31名)  
青井 禮子、石原 幸子、稲生 裏、大澤 真木子、大坪 公子、加藤 悠子、川田 喜代子、栗原 久子、佐伯 輝子、佐々木 和子、佐藤 千代子、佐野 アヤ子、鹿田 儀子、清水 洋子、白浜 光子、田中 蘭子、中濱 昌子、西嶋 攝子、野澤 良美、野本 照子、橋川 ふさ子、橋本 葉子、久田 タカ、平敷 淳子、松井 ひろみ、松本文絵、丸茂 昌子、宮原 茂子、村田 郁、山本 穣子、吉崎 喜美子

定款30条の定め定款施行規則23条により31名、無当票当選となる。

監事立候補者名(3名)  
南雲 君代、野呂 幸枝、藤岡 邦子

定款3名のため定款施行規則23条により3名、無投票当選となる。

定款施行規則15条にもつき新役員選出  
理事の選出  
会長 佐藤 千代子

副会長 白浜 光子、中濱 昌子、野澤 良美  
常任理事 青井 禮子、石原 幸子、稲生 裏、栗原 久子、佐々木 和子、佐野 アヤ子、野本 照子、橋川 ふさ子、橋本 葉子、平敷 淳子、松井 ひろみ、丸茂 昌子  
理事 大澤 真木子、大坪 公子、加藤 悠子、川田 喜代子、佐伯 輝子、鹿田 儀子、清水 洋子、田中 蘭子、西嶋 攝子、野澤 良美、野本 照子、橋川 ふさ子、松本文絵、宮原 茂子、村田 郁、山本 穣子、吉崎 喜美子  
国際連絡書記 平敷 淳子  
以上 承認

報告  
一、西太平洋地域会議報告 佐藤 千代子  
二、会務および事業報告 南雲 君代  
配布資料の資料にもつき報告  
三、平成5年度特別会計報告 佐々木 和子  
吉岡弥生賞基金会計  
国際女医学会記念事業基金会計

年金会計  
ルーベンゲン会計  
以上について配布済みの資料にもつぎ報告  
四、国際連絡書記報告 野本 照子  
議長団選出  
小俣喜久子、関根みよ、日高歐子  
〔議長団、議長団席に着席〕  
議事録署名人選出  
井上柳子、渡辺政子

第一号議案  
(1)平成5年度一般会計収支計算書 栗原 久子  
配布済みの資料にもつぎ報告  
(2)剰余金処分案 栗原 久子  
—— 次期会計へ繰り越す  
—— ことを原案どおり可決  
大原 一枝  
監査の結果適法かつ正確であることと認める旨の報告あり。  
第二号議案  
平成6年度事業計画案  
〈庶務部〉 野呂 幸枝  
会員増加推進 野呂 幸枝  
吉岡弥生賞 野呂 幸枝  
〈事業部〉 野呂 幸枝  
医療過疎地診療奉仕活動への助成  
公衆衛生活動 野呂 幸枝  
支部助成 野呂 幸枝  
萩野吟子賞 野呂 幸枝  
年金 ルーベンゲン  
社会保険新報社への原稿協力について 月刊「いきいき」

〈渉外部〉 野呂 幸枝  
国内および国際交流 野呂 幸枝  
〈広報部〉 野呂 幸枝  
機関紙の発行 田中 蘭子  
〈学術部〉 田中 蘭子  
研究助成 シンポジウム、ワークショップ  
—— 以上原案どおり可決  
第三号議案  
平成6年度一般会計収支計算案 青井 禮子  
—— 原案どおり可決  
第四号議案  
定款改正案 佐藤千代子  
—— 原案どおり可決  
第五号議案  
次期及び次々期総会開催地について 佐藤千代子

### 各賞と研究助成

#### ▼吉岡弥生賞を受賞して



愛知支部 加藤 庸子

このたび、第39回日本女医学会総会の席で平成5年度吉岡弥生賞を頂く栄誉に恵まれました。女医の選択としては比較的めずらしい脳神経外科の専攻と、一九九〇年に発足させた日本脳神経外科女医会が今回受賞のきっかけとなったものと思います。ここに改めてこれまでにご支援、ご指導賜りました諸先生方に厚くお礼申し上げます。

現在脳神経外科女医数は約一二〇名で脳外科全体の1・8%でそのうち専門医は四四名おります。米女性脳外科医の教に匹敵いたします。脳外科の選択については学生からよく質問を受けます。当時、教授の薦めで、ただ好きであった」という単純な理由で入局した私にとり、説明を

#### ▼吉岡弥生賞を受賞して



杉並支部 横山 和子

このたびは、思いもいたしておりませんでした吉岡弥生賞をいただくことができて、感無量でございます。関係各位に厚く御礼申し上げます。受賞の対象とされましたのは、卒業一貫して麻酔科学一筋に今日に至っていることに対してであります。私が麻酔科学を専攻した当時は、日本に麻酔科学講座はできておらず、全くの未知の分野でありました。でも、欧米ではすでに専門分野として独立しており、日本はかなりの遅れをとっておりました。未知というこ

と、手術中の全身管理をするというスリル(緊張感)が、私をこの道に引き入れたように思います。その後、米国でレジデントをしたことが、麻酔のほんとうのおもしろさを知ることにつながり、それはやがて仕事の満足となり、現在の教育の楽しさになつているといえます。麻酔の分野は年とともに拡大し、現在では手術時の麻酔だけではなく、術前・術後の全身管理、呼吸管理、救急医学、ICU、ペインクリニックを始めとする疼痛管理など、全身

管理の専門家として活躍しております。最近、癌性疼痛管理からホスピス棟の管理もまかされるといふ現状にあります。痛みからの解放は人類の永遠の希望であり、それに向かって一歩一歩近づいている現状にあります。もはや手術は痛くない時代に入りつつあるといえます。私が、現在興味をもつておりますことは、「ストレスフリーの麻酔とは何か」という私の専門分野と、医学

#### ▼萩野吟子賞を受賞して



葛飾支部 唐澤 寿

萩野吟子賞をお受けして本当に我ながら驚いています。こういうことは知らないで出たお顔を拝見したとき、本当に自分が価値ある人間かどうかということとをいろいろ考えさせられました。恥しいような感じがいたしました。ただ、私は女学生時代に非常に真面目な校長に教育されまして、何でも途中でやめるという事がいやでございまして、女学校時代から一度もお休みしないで四年間通学致しましたし、もちろん小学校時代もそうでございました。そのように健康に恵まれていたこともございましょうけれども、女学校時代の校長の教育によりまして、学校を休むのがすごく



神奈川支部 養老 静江

#### ▼萩野吟子賞を受賞して

私はただわがままを貫いてきただけで、賞をいただくにはふさわしくなく、かたじけない思いでいっぱいですが、皆さまの代表としてありがたくお受けすることにいたしました。これが正直なところでございます。唐沢寿さんは真正正銘の優等生です。私はいと、崇高な志があつ

ましても出席するという性格がございまして壇上にのぼった次第でございます。そんなことで皆さまにお話しすることはございませんが、人間真面目であるということだけで、こういう賞をお受けする結果を招いたことを感謝いたしておる次第でございます。

突然のことで、本当にびっくりいたしました。壇上にのぼった次第でございます。そんなことで皆さまにお話しすることはございませんが、人間真面目であるということだけで、こういう賞をお受けする結果を招いたことを感謝いたしておる次第でございます。

#### ▼学術研究助成を授与されて



京都支部 中村 久美

このたびは、第十四回日本女医学会学術研究助成を賜り、ありがとうございます。麻酔科の医師であり、麻酔薬の血管作用を研究してきた私と私の共同研究者たちは、一つの大きな疑問につきあつておりました。一酸化窒素(NO)は、血管においては内皮依存性弛緩反応をひきおこします。ところが、知られている限りすべての麻酔薬が、内皮依存性弛緩反応を抑制するのです。これはなぜなのか。『内皮依存性弛緩反応を抑制しない薬は麻酔作用を持ち得ない』のか。そこで私どもがたてた第一の研究計画は、本当にすべての麻酔薬が内皮依存性弛緩反応を抑制するのか、検証することでした。この実験は着々と進んでおります。調べた限りの

すべて揮発性麻酔薬、局所麻酔薬が同様の抑制効果を示しましたが、ベンゾジアゼピム誘導体である静脈麻酔薬のミダゾラムは抑制効果を持たないことが明らかになりました。一方、興奮性シナプス伝達など神経系でのNOの役割が注目されるようになり、私どもは「麻酔薬は脳におけるNO・サイクリックGMP (cGMP)系への抑制効果により興奮性シナプス伝達を抑制し、この作用が麻酔作用に寄与している」という仮説を持つようになりました。(ベンゾジアゼピム誘導体はGABAergic fiberを刺激して麻酔作用を示すすれば、NO-cGMP系を抑制しなくともいいわけです。)第二の研究計画はこの仮説を検証することであり、これが今回の研究助成の対象となり

細々とやってまいりました。この方方に私の方から表彰状をさしあげたいくらいです。こういった支えがあったからこそ、私は開業医としての人生を思うさま楽しく満喫してきたのです。人間好きで、もつとよく知りたいという興味と好奇心から、自由にのびのびと診療を続け、今日にいたりました。このたびの受賞は、中断せず

すでに医師として働いてきたことで、「皆勤賞」をいただけたのだというふうに受けとめております。九十四歳の私をあてにして、必要とさせていただきます患者さんのある限り、これからも休まず診療活動に励みたいと思っております。ありがとうございます。



ました。  
申請書を出してから、第二の計画もすでに進展しました。揮発性麻酔薬のハロセン、イソフルレンと静脈麻酔薬のチオペンタールが、ラット小脳のNO生成あるいはNOへの感受性を抑制するという私の研究成果は、すでにAnesthesia and Analgesia誌に掲載予定となりました。この報告申し上げます。ほかの麻酔薬については現在検討中です。国際競争の激しいこの分野では、一時も早く論文を出すことが至上問題です。しかし、この仕事は、私にとつては前述の疑問を解き明かす自分の闘いでもあります。解きたい疑問がある限り、私どもの研究生活は終りません。このような研究への助成を深謝しております。

### ▼学術研究助成を授与されて



都下東支部 橋井 美奈子

今回は学術研究助成をいただき、どうもありがとうございます。私は「セカンドメッセンジャーレベルからみたてんかん原性の研究」イノシトールリン酸による細胞内カルシウム流入機構の解明」をテーマに応募させていただきました。  
レセプターが神経伝達物質などにより刺激を受けると、多くの場合セカンドメッセンジャーによりイオンチャネルや細胞内カルシウム濃度の制御が行われ、神経細胞興奮性が制御されます。このセカンドメッセンジャーとしてのイノシトール3リン酸および4リン酸の役割を明らかにする研究が注目されています。たとえキンドリング動物におけるイノシトールの代謝回転の亢進、フェニトインのイノシトールリン酸代謝

への影響などがわかっています。このように生化学的にはかなりの解明がすすんでいますが生理学的にはまだ謎の部分が多いのが現状です。私どもはパッチクランプ法による膜イオンチャネル電流測定と、細胞内カルシウム濃度の同時測定という比較的新しい手法により、セカンドメッセンジャー依存性(レセプター作動性)カルシウムチャネルの生理学的な解明を試みております。  
電気生理学的な基礎研究を通じて、てんかんをはじめとする神経難病の解明に少しでも役に立ちたいとがんばるつもりでおります。  
今後ともよろしくお願いいたします。

### ▼学術研究助成を授与されて



東女医内支部 藤巻 わかえ

女性の社会進出、男女同権がさけられるようになって久しく、日本女性、それもMDが宇宙にはばたくご時世となりましたが、女性が男性に互して社会活動を行っていくのは決して容易ではありません。わが家でも三人の子どもたちを孤児？にしないために、ベビーシッターさんが帰る時間を気にしながら実験する毎日です。

女子医大第二病院小児科草川教授、保科教授のもとでの好中球の研究にはじまり、テキサス大学MDアンダーソン癌センター細胞生物部クレイナーマン助教授(女医)のもとでのマクロファージの研究と、一貫して白血球の研究をつづけてきた私ですが、一昨年、女子医大微生物免疫学教室に引っ越しをさせていただいてからはリンパ球の研究を楽しませて(苦しませて?)いただいております。  
わが教室ではスパー抗原によるリンパ球の活性化、それと種々の疾患の関係をいとも興味ある題材について、内山竹彦教授を筆頭に従来精力的に研究が行われております。この仲間に入れていただけて行っております一つのプロジェクトが、スパー抗原の生体毒性発現機構とそ

### ▼学術研究助成を授与されて



台東支部 岩川 真由美

冒頭にも書きましたが、女性にとって決して有利ではない社会で、唯一女性であることが特権となる資格、それが女医会の研究助成金であります。それとて多くの優秀な先輩、同僚の皆様がいらつしやるなかで、私の研究を助成の対象に選んでいただき、本当に感激いたしております。もちろんこの助成金をいただくにあたりご指導、ご推薦をいただいた内山教授、また微生物免疫学教室の先輩の諸先生方のお力が大きいことはいうまでもありません。

女性であること自体は、決してハッピーなキャップとは考えておりませんし、また子どもに恵まれたことは、小児科医でもある自分にとつてすばらしい財産であると思っております。これからのいろいろな困難を克服してがんばっていかねばと決意を新たにしたい次第です。また、研究の上でも女性ならではの緻密さ、正確さをもとに、より成果が上がるよう努力し、またそのために本助成金を使わせていただくよう考えております。研究助成、本当にありがとうございます。

受けることもなくやっています。働きながらの妊娠中等は、逆に男性の先生たちにかばっていただいでやっています。そんな私が女医であることを意識したのは大学のスタッフになってからです。極端に女医の数が少なくなり、学内重要ポストは男性の先生たちばかりです。まわりをみれば、結婚・妊娠・子育てと後輩の女医たちは髪をふりみだし、子どもをかかえながら、それこそ、男性の二倍の活躍ぶりです。あー、なんて日本は女性に不利な世の中でしょう。

やはり女性同志で諸問題を解決し、後輩の道を通りやすくしてやるには、助成団体に入るべきと考え、三年前に女医会に入会しました。忙しくて、総会にも出席せず、今回初めての総会出席でしたが、すべてが驚きでした。だって、みなさんが本当にお若く、はつらつとして、やさしくて、おだやかだからです。私が考えていた利益集団とは大違い。余裕の団体です。知的な女性がこれだけ多く集まった集団を見たのは初めてでした。本当に感動しました。

私も今は、こんなにあわてまくって人生を送っているけど、生きがいのある医師の仕事が続いていけば、いつかこなすまで女性になれるのかと、心の助成までいただきました。本当にありがとうございます。さて、私の研究課題は、「神経芽腫におけるアポトーシス誘導」です。アポトーシスは枯死ともよば



高知支部 武田 京子

### ▼学術研究助成を授与されて

れる自然死で、あらかじめプログラムされた細胞の死です。細胞の死には、この枯死と、よくご存じの壊死があるといわれています。神経芽腫は小児固型腫瘍中、最も頻度が高い腫瘍であり、その特徴として、乳児例で自然治癒が報告されています。私どもは、実験的にマウス神経芽腫でアポトーシス出現を認めており、このアポトーシス出現至適条件を探ることにより新治療法を開発しようというのが目的です。

平成六年五月二十九日東京で開催されました第39回日本女医会定時総会におきまして、第十四回日本女医会学術研究助成をいただき、誠に有難うございました。

研究課題は、「偽性副甲状腺機能低下症におけるGs蛋白質異常の遺伝子解析」について検討しております。ホルモン不応症と称されております疾患の中、一九六七年Reitoff教授によってはじめて報告されました甲状腺ホルモン不応症の原因が、核受容体の一つであります甲状腺ホルモン受容体の遺伝子異常にあることをReitoff教授の下で研究して参りました。さて、副甲状腺ホルモン

な死です。運命にまかせてグラグラ死んでいくのではなく、自分の死が近づいた時は自ら酵素を誘導し、積極的に死へと進んでいきます。私も最後まで生き生きとのびやかに、死ぬ時は、前倒れで死ぬように女医らしくやっていきたいと思っております。

こで、近年、クローニングがなされたの遺伝子の遺伝子構造をもとに当院外来通院中のPHPI型の偽性副甲状腺機能低下症患者のGs遺伝子における異常について検討を行いました。さらに、in vitroでのGs遺伝子異常と本症との関係を探ることにすることをお願いしております。

### ▼学術研究助成を授与されて



栃木支部 池田 三知代

このたびは、第十四回学術研究助成金をいただきましたことに光栄と存じます。

研究課題は「糸球体腎炎の発症・進展におけるサイトカインの作用」です。近年、腎炎の研究は、糸球体内のメサンギウム細胞の培養方法が確立され、さらに種々のサイトカインの発見および腎炎発症への関与が明らかになり長足の進歩を示しております。私どもも、これまで培養メサンギウム細胞自身が各種サイトカインを産生していること、またサイトカインの中のインターロイキン1およびインターロイキン6がメサンギウム細胞の増殖を抑制することを報告してまいりました。今後は、これまで報告されているin vitroの系

ンやその受容体などのcDNAの発見と疾患の病因論の研究の双方から、より詳細な作用機構が解明されつつあります。臨床研究の立場から患者の病因、早期診断、さらには治療に、少しでもお役に立つことができたらと願っております。まずは、研究の成果を近々ご報告できますよう、がんばりたいと思っておりますので、今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

今回の、助成金の授与式のため女医会の総会に初めて参加させていただきましたが、先輩方皆さんが会のために一生懸命活動していらつしやる姿を拝見して、自分が女医としてこうして働けるのも、先輩たちの作ってくださった道のおかげであると、とてもありがたく感じました。私自身も、貴重な助成金をいただくことを励みにさらに努力していきたいと考えております。

定時総会報告記

総会と支部連合会の役割

東京都支部連合会

庶務部 齊藤 歌子
事業部 守屋 孝子
会計部 中山 年子

第39回日本女医学会総会は、前日本女医学会会長山崎倫子先生のご引退の花道にふさわしく、盛大になごやかな盛り上りの中に終了いたしました。本会におめでとうございました。

昨年十二月、日本女医学会本部より、女医学会総会についてのご相談あり、支部連合会としての大体のスケジュールをきめ、本年一月より、今野支部連合会会長、三神先生、小俣先生の陣頭指揮にて、役員一同準備をすすめました。お土産は、「アラ、また袋」とおっしゃられるかとも思いましたが中々名案も浮かばず、二月十二日の大雪の日、雪のなかをころびながら、問屋を三人でうろついてやとときめました。テレフォンカードは、今野先生のご提案で、絵柄についてはいろいろ皆で考えましたが、

ものとして意義深い研修会でした。午後五時より二台のバスで、東京ベイ・ナイタークルージングと、吉原松葉屋の懐石料理、花魁ショーの組に別れ、それぞれ初夏の夕の一時を楽しく過ごし、会員相互の親睦を深めました。

・五月二十九日

午前八時朝食会(今野会長主催)は、参加者九十名近く、総会当日のさわやかな朝を迎えました。例年の通り、お茶席は守屋先生の肝入りで、朝から開かれ、会員各自自由な時間に、心の安まる一時を過ごさせていただきました。

一時より総会が開かれ、次期理事の選出も選挙なく、会長も前副会長佐藤千代子先生が引きつがれ、新しい執行部が誕生しました。

五時からの懇親会は、勸九郎丈の長男勸太郎君、次男七之助君の「長唄いきおい」の舞踊で幕をあけました。お料理もおいしく、楽しい和やかな雰囲気、時のたつのも忘れるほどでしたが、午後八時、名残りを惜しみつつ再会を約して散会いたしました。

私も支部連合会が無事役割を果たすことができましたこと、総会ご参加の会員の皆様方、本部の理事の方々、事務局の三人の事務員の方々の温かい協力のおかげで、ここに深くお礼を申し上げます。

定時総会参加記

港支部 一 村 芙美江

〈講演会〉五月二十八日(土)午後三時〜四時三〇分、京王プラザホテル「あおぞら」にて講演会(東京都支部連合会主催)が開催された。演題 C型慢性肝炎の治療 講師 虎ノ門病院消化器科部長 熊田博光先生

座長 三神美和先生 司会 吉田茂子先生

感染十年後には約30%が肝硬変となり、約15%が肝癌に移行するC型は肝炎の時期に進行を阻止しなければならぬ。その中心がインターフェロン療法である。これがC型の遺伝子によるさらなる型の分類により効率が違う。効果の上らない型も含め外来で強力ミノC静注が毎日多数の患者に施行されている。

わき道のお話 (1)C型遺伝子の型で日本人はどこから日本列島にやってきたかがわかる。(2)近ごろの父親決定の裁判にも遺伝子配列は役立つ、即ち費用(百万円以上)は否定している父親負担。ほとんどの父親は検査はせず親子関係を認めるとか。私はふとお話をききながら今の健保制度のバンクはそう遠い話ではないなど変な感想を持ちました。

信子先生の招待。五月二十九日(日)午前8時より「富士」の間 京王プラザホテル宿泊組も早朝よりのかけつけ組も前夜祭の楽しさを引きずっての賑やかな朝ごはん、ごちそうさまでした。 〈評議員会〉午前十時〜十二時「あおぞら」 出席七十三名、委任者数二十五名で会は成立。山崎会長の挨拶は西太平洋地域会議の成功にもふれられ評議員諸姉へのお礼をのべられました。今回の総会の議事に提案する定款改正案の理由も簡潔にのべられました(後記)。佐藤副会長の西太平洋地域会議報告もわかりやすく、京都の五日間がまたその前の資金集めの理事、評議員、会員たちの苦勞が思い出されました。

三時〜十七時。

出席者数二百三名、委任者数七百四十七名で会は成立。

(1)役員(理事・監事)数が定員をオーバーしていないので選挙はなく、新理事は新しい会長以下の役員を選ぶため「あさひ」の間に移動。

(2)山崎倫子会長のお話 (1)の時間を利用して約三十分壇上の席に腰をかけ、リラックスされた雰囲気を感じました。最近の海外出張で感じられた諸外国の貧しさ、四日間の会議で毎日同じメニューのカレー?よりのものしか出ないのに、皆おいしそうに食べている。日本の特にホテルの食事を思い、考えさせられることと多々。これからの女医はもっともつと国際の場、日本医師会役員の場合、地域の医療、ボランティア等に積極的に出て行きますよう、と日本女医学会のこれからの道を示唆。豊富な経験を土台にされた語りかけは会員を引きつけ、長期にわたった日本女医学会の指導者にふさわしい一語でした。

(3)東京都支部連合会主催の恒例となつて守屋孝子先生を中心にお茶席は会員の皆さんのやすらぎの場でした。

(4)新役員のごあいさつ 会長に佐藤千代子先生、副会長に白浜光子、中濱昌子、野沢良美三先生、以下新顔を多く揃えてのいなばなしい出発です。医療情勢きびしいなか、女医学会の梶とりよろしくお願い申し上げます。

(5)総会 山崎会長挨拶、物故者へ

の黙禱

〈報告〉(評議員会にはほぼ同じ) 報告で今後ますます日本女医学会が地球規模ではたす役割の大きさを痛感しました。

〈議事〉これに先立ち会長指名で小俣喜久子、関根みよ、日高歐子の三先生が議長団となられ、議事録署名人は井上柳子、渡辺政子の二先生がなされました。

第4号議案 定款改正案 なぜ今改正が必要かを会長挨拶の中でのべられましたが、再び佐藤副会長より丁寧に説明があり、会員の納得をいただきました。すなわち今後の会員数の低下、医療情勢のきびしさからのおもな改正点はつぎのとおりです。

(目的) 第四条(前略)さらに女性の地位向上と男女機会均等の実現を推進することを目的とする。

これは会長のお話や、挨拶の中にあつた女医という小さい社会にとどまることなく広く社会に出ましようという趣旨に一致します。

(役員) 第十四条 理事三〇名、三五名以内(うち会長一名、副会長三名、常任理事若干名を含む)を理事二名、二名以内(会長一名、副会長二名)とする。これは会費を節約し、しかも充実した少数の理事を選び、常任理事を排し、毎月理事会を開いてしつかり仕事をしつこうとの趣意によるものです。

この改正案は満場一致で今総会は

通過しましたが、細部の検討をし、今後の二回の総会の賛同を得て三年後の選挙総会に向かって生まれかわることでしょう。

第5号議案 次期総会開催地、埼玉県根元先生主催、次々期福岡県加藤先生主催が山崎会長より発表されました。

〈表彰〉 吉岡弥生賞、荻野吟子賞、学術研究助成です。今年度の荻野吟子賞は唐沢寿先生(九十三歳)養老静江先生(九十四歳)の現役医師におくられ、養老先生はおつきそのの男性の手を振りはらって一人でゆつくり山崎会長の前に進まれ、感動しました。寿命は人それぞれですが、最後まで現役であろうとする姿勢を持ちたいものだと心にお二人を焼きつけました。

(6)懇親会 南館四階「錦」の間 ①会に先立ちご祝儀の踊りです。「菊寿の草摺」通称「いきほひ」長唄の地です。叔母で踊手の師匠でもある中村芝翫丈の長女中村流の中村光江師より解説があり、中村勸太郎(兄)の曾我の五郎と中村七之助(弟)の化粧少将が逆沢瀉の鏡を間に荒と艶をきつちりと舞い、あの小さい七之助の後姿がまさに女の色を出しつくしていることに、さすがと大喝さいでした。長唄、吉住小紋師、小十師、系は支部連合会庶務の齊藤歌子先生と吉住小美和師がこの企画も東京都支部連合会です。

②新旧会長のごあいさつと佐藤新

ダイナクルージングに参加して

新宿支部 竹下 寿子

平成六年五月二十八日、日本女医学会第39回総会が東京で開催されました。幸い天候にも恵まれ、準備をいたしました私ども、ほっとしているところでございます。

講演終了後いよいよクルージングに参加です。それぞれ皆、胸にかわいい紫の花(中山年子先生の手作り



です)をつけ、京王プラザホテルの前に待っていたバスに乗り込みました。五時三十分ホテルを出発、車中皆で楽しくおしゃべりしているうちに、大きな帆船のマストが目に見え、胸がわくわくしてきました。もう竹芝橋です。夕闇せまる七時、ヴァンティア号に乗船です。開宴に先立って、日本女医学会会長の山崎倫子先生のごあいさつです。ついで東京都支部連合会会長の今野信子先生の力強いかんばしいご発声で豪華な会が開かれました。

右に横浜ベイブリッジ、左にベイエリア再開発ビル群が一望でき、まさに東京新名所の一つです。おいしフランスワインをいただきながら爽やかな潮風に吹かれ、すばらしいバイオリンの生演奏を聞きながらのすてきな食事、本当に夢のような楽しいひとときでございました。ドイツニールランドの花火を見ながら、



Uターンをいたしました。参加者は皆で七十六名で、お一人もキャンセルがなく、北は青森、秋田、岩手、宮城から、南は広島、高知、岡山からいらっしやいました。総会よりもクルージングが楽しきというお声を

花魁ショーに参加して

台東支部 尾中 妙子

五月二十八日、京王プラザホテルにおいて「C型慢性肝炎の最新治療法」の興味深い勉強会が終り、いよいよ夜のお楽しみ会に出席することになった。(参加者二十三名)

五月二十八日、京王プラザホテルにおいて「C型慢性肝炎の最新治療法」の興味深い勉強会が終り、いよいよ夜のお楽しみ会に出席することになった。(参加者二十三名)

多くの方から伺いました。皆さま非常に喜んでくださり、お一人の事故もなく無事にホテルに戻ってまいりました。準備をいたしました私どもとても嬉しゅうございました。以上ご報告申し上げます。

常任理事会議事録

日時 平成5年2月24日(木) 午後4時30分より

場所 日本女医学会会議室

出席者

山崎、佐藤、野呂、青井、石原、稲生、白浜、中濱、二村、野本、橋川、橋本、平敷、田中 (以上14名)

欠席者 白橋 (以上1名)

- 1、オブザーバーとして田中理事の出席が承認される。
2、吉岡弥生賞受賞者決定
3、荻野吟子賞受賞者決定
4、学術研究助成受賞者決定
5、前回議事録の承認をとる。

【広報部】 稲生常任理事
女医学会誌一三八号に記載する各部報告の原稿を各部先生に依頼。原稿締め切りは3月15日。

【渉外部】 野本常任理事
国連NGO国内婦人委員会「第48回国連総会報告会」についての報告。

【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。
【渉外部】 野本常任理事
野本常任理事
【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

【広報部】 稲生常任理事
女医学会誌一三八号に記載する各部報告の原稿を各部先生に依頼。原稿締め切りは3月15日。

【渉外部】 野本常任理事
国連NGO国内婦人委員会「第48回国連総会報告会」についての報告。

【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。
【渉外部】 野本常任理事
野本常任理事
【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

山崎、佐藤、野呂、青井、石原、稲生、白浜、中濱、二村、野本、橋川、平敷、小田、川田、栗原、小出、佐々木、関口、田中、南雲、野澤、松井、丸茂、森田、吉崎、土井、藤岡 (以上27名)
欠席者 白橋、橋本、明石、佐野、大原 (以上5名)

1、2月常任理事会の議事録を承認。
2、本日の議事録署名人名として吉崎理事を指名。

【庶務報告】 南雲理事
別紙どおり報告、承認される。

【会計報告】 佐々木理事
平成6年2月分収支、別紙どおり報告、承認される。

【渉外部】 野本常任理事
国際婦人年連絡会「全体会」、労働省婦人局長主催「国際シンポジウム」、「政策決定委員会」について。

【事業部】 丸茂理事
中高生向けのエイズの小冊子について。
題は山崎会長の案で「Dr・Iのメッセージ」とする。

【広報部】 小出理事
3月25日第一三八号会誌割付会議。

【学術部】 平敷常任理事
ワークショップについて

【会計部】 青井常任理事
6年度会計は繰越金があったため、西太平洋地域会議の余剰金を繰り込まなくとも成立する。

【渉外部】 野本常任理事
定時評議員会II従来通り

【事業部】 丸茂理事
来年度より会費の値上げを予定している。

【庶務報告】 南雲理事
別紙どおり報告、承認される。

【会計報告】 佐々木理事
平成6年2月分収支、別紙どおり報告、承認される。

【渉外部】 野本常任理事
国際婦人年連絡会「全体会」、労働省婦人局長主催「国際シンポジウム」、「政策決定委員会」について。

【事業部】 丸茂理事
中高生向けのエイズの小冊子について。
題は山崎会長の案で「Dr・Iのメッセージ」とする。

【広報部】 小出理事
3月25日第一三八号会誌割付会議。

【学術部】 平敷常任理事
ワークショップについて

【会計部】 青井常任理事
6年度会計は繰越金があったため、西太平洋地域会議の余剰金を繰り込まなくとも成立する。

【渉外部】 野本常任理事
定時評議員会II従来通り

【事業部】 丸茂理事
来年度より会費の値上げを予定している。

【庶務報告】 南雲理事
別紙どおり報告、承認される。

【会計報告】 佐々木理事
平成6年2月分収支、別紙どおり報告、承認される。

【渉外部】 野本常任理事
国際婦人年連絡会「全体会」、労働省婦人局長主催「国際シンポジウム」、「政策決定委員会」について。

【事業部】 丸茂理事
中高生向けのエイズの小冊子について。
題は山崎会長の案で「Dr・Iのメッセージ」とする。

【広報部】 小出理事
3月25日第一三八号会誌割付会議。

【学術部】 平敷常任理事
ワークショップについて

【会計部】 青井常任理事
6年度会計は繰越金があったため、西太平洋地域会議の余剰金を繰り込まなくとも成立する。

【渉外部】 野本常任理事
定時評議員会II従来通り

【事業部】 丸茂理事
来年度より会費の値上げを予定している。

【庶務報告】 南雲理事
別紙どおり報告、承認される。

【会計報告】 佐々木理事
平成6年2月分収支、別紙どおり報告、承認される。

【渉外部】 野本常任理事
国際婦人年連絡会「全体会」、労働省婦人局長主催「国際シンポジウム」、「政策決定委員会」について。

【事業部】 丸茂理事
中高生向けのエイズの小冊子について。
題は山崎会長の案で「Dr・Iのメッセージ」とする。

【広報部】 小出理事
3月25日第一三八号会誌割付会議。

【学術部】 平敷常任理事
ワークショップについて

【会計部】 青井常任理事
6年度会計は繰越金があったため、西太平洋地域会議の余剰金を繰り込まなくとも成立する。

【渉外部】 野本常任理事
定時評議員会II従来通り

【事業部】 丸茂理事
来年度より会費の値上げを予定している。

【庶務報告】 南雲理事
別紙どおり報告、承認される。

【会計報告】 佐々木理事
平成6年2月分収支、別紙どおり報告、承認される。

【渉外部】 野本常任理事
国際婦人年連絡会「全体会」、労働省婦人局長主催「国際シンポジウム」、「政策決定委員会」について。

【事業部】 丸茂理事
中高生向けのエイズの小冊子について。
題は山崎会長の案で「Dr・Iのメッセージ」とする。

【広報部】 小出理事
3月25日第一三八号会誌割付会議。

理事会議事録

日時 平成6年3月26日(土) 午後3時30分より

場所 日本女医学会会議室

出席者

副会長(庶務部担当) 佐藤 石原、二村

【広報部】 稲生常任理事
女医学会誌一三八号に記載する各部報告の原稿を各部先生に依頼。原稿締め切りは3月15日。

【渉外部】 野本常任理事
国連NGO国内婦人委員会「第48回国連総会報告会」についての報告。

【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【渉外部】 野本常任理事
野本常任理事

【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【渉外部】 野本常任理事
野本常任理事

【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【渉外部】 野本常任理事
野本常任理事

【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【渉外部】 野本常任理事
野本常任理事

【事業部】 白浜常任理事
仙台でも「日本女医学会公開講演会」(2月19日)宮城支部諸先生の尽力で成功裡にて終了。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。

【学術部】 橋本常任理事
ワークショップ、来年度は二度行う予定。



を取る予定。  
(2)山崎会長より、定款改正について三神先生からご助言をいただいたとの報告があった。

評議員会議事録

日時 平成6年5月29日(日)  
場所 京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿2-2-1)  
午前10時6分開会  
司会 二村美美江

社団法人日本女医学会評議員会開催に際し  
評議員数 一四四名  
出席数 七一名  
記名委任数 一四名  
白紙委任数 一一名

以上のとおり日本女医学会定款第27条の定足数に達し、評議員会が成立する旨の報告あり開会を宣す。

会長挨拶 山崎 倫子

報告 一、西太平洋地域会議報告 佐藤千代子  
二、会務および事業報告 吉崎喜美子

配布済みの資料にもとづき報告。  
三、平成5年度特別会計報告 佐々木和子

吉岡弥生賞基金会計  
国際女医学会記念事業基金会計

年金会計  
ルーペンタン会計  
以上について配布済みの資料にもとづき報告。

議長選出 尾中妙子 (議長着席)

議事録署名人選出 齊藤歌子

議事 第一号議案

(1)平成5年度一般会計収支計算書 配布済みの資料にもとづき説明 栗原 久子

(2)剰余金処分案 栗原 久子  
次期会計へ繰り越すことを原案  
どおり可決

会計監査報告 大原 一枝  
監査の結果適法かつ正確であることを認める旨の報告あり。

第二号議案 平成6年度事業計画案 白橋 美笑  
〈庶務部〉  
会員増加推進

吉岡弥生賞 白橋 美笑  
〈事業部〉  
医療過疎地診療奉仕活動への助成

公衆衛生活動 支助助成 白橋 美笑  
荻野吟子賞 年金 ルーペンタン

社会保険新報社への原稿協力について 月刊「いきいき」

〈渉外部〉 白橋 美笑  
国内および国際交流

〈広報部〉 白橋 美笑  
機関紙の発行 田中 蘭子  
〈學術部〉 研究助成 シンポジウム、ワークショップ  
以上原案どおり可決

第三号議案 平成6年度一般会計収支予算案 青井 禮子  
原案どおり可決

第四号議案 定款改正案 佐藤千代子  
原案どおり可決

第五号議案 次期及び次々期総会開催地について 山崎 倫子  
次期開催地 埼玉支部  
次々期開催地 福岡支部  
原案どおり可決

閉会の辞 野呂 幸枝  
午前12時06分開会

会員動・静

評議員(敬称略)  
茨城支部 宮本佳子  
千葉支部 三橋麗子  
北支部 河野芙美子  
葛飾支部 姉子路和子  
世田谷支部 齋藤文子  
練馬支部 関口喜久  
東女医大内 竹宮敏子  
神奈川支部 森田和子  
愛知支部 佐藤秩子  
岡山支部 内藤悦子  
福岡支部 水田祥代

予備評議員(敬称略)  
北海道支部 河瀬珍実  
茨城支部 秋葉則子  
北支部 大木田勝子  
練馬支部 足立茂代子  
東女医大内 小野由子  
愛知支部 野村多賀子  
岡山支部 赤木瑩子  
福岡支部 坂本雅子  
新卒入会会員(敬称略)  
愛知支部 武内佳子  
入会会員(敬称略)  
北海道支部 武井弥生  
秋田支部 長沼晶子、本間真紀子  
宮城支部 吉田まどか  
群馬支部 中島昭子  
埼玉支部 平谷子、定森真理、長島真理子、仁羅山紀久子  
神奈川支部 恩田理英子  
渋谷支部 海野忠子  
文京支部 三浦ミツ子  
高知支部 市原直子  
福岡支部 水田祥代、吉原志乃

物故者(敬称略)  
秋田支部 博田和  
埼玉支部 高浜喜美子  
新潟支部 佐藤勇、永野きん  
神奈川支部 溝口千里  
岐阜支部 伊藤紀子  
愛知支部 森川みどり  
京都支部 卜部美津子  
福岡支部 橋本フジ子

集記 編後

今夏は記録的な猛暑の連続ですが先生方いかがお過ごしでしょうか。水不足も心配です。

さて会誌一三九号は役員改選の時期でしたので、新役員十二名の他に役職交代もあり、ご寄稿が多く、嬉しい悲鳴でした。どうぞ新会長先生はじめ諸先生のご抱負をご高覧いただきたく存じます。

八月七日から十二日まで第10回国際エイズ会議がパシフィコ横浜(横浜国際平和会議場)にて開催され、一四〇カ国からメッセイジが寄せられます。本会事業部のエイズの劇画冊子もこのような折にうまく利用していただけたらと思います。  
七月二十三日(土)の第7回ワークショップ「飛びたとう世界へ」はともよい会でした。乞次号ご期待。(稲生)

平成6年8月20日 印刷  
平成6年8月25日 発行

編集人 稲生 襄  
発行人 日本女医学会  
発行所 東京都渋谷区渋谷2-8-7 青山宮野ビル  
社団法人 日本女医学会  
〒三三九八-〇五七一  
〒三三九八-〇五七一  
東京文京区水道1-5-16

制作 株式会社 金剛出版